

今冬のインフルエンザ・新型コロナウイルスに備えて



今年の冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えた対策が必要となってきます。今後も手洗い・マスク着用・3密回避など予防対策も継続して積極的に行っていきましょう。

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の違い

	インフルエンザ	新型コロナウイルス（COVID-19）
症状の有無	ワクチン接種の有無などにより程度の差があるものの、しばしば高熱を呈する	発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障害を伴うことがある
潜伏期間	1-2日	1~14日（平均5.6日）
無症状感染	10% 無症状患者では、ウィルス量は少ない	数%~60% 無症状患者でも、ウィルス量は多く、感染力が強い
ウィルス排出期間	5-10日（多くは5-6日）	遺伝子は長期間検出するものの、感染力があるウィルス排出期間は10日以内
ウィルス排出のピーク	発病後2、3日後	発病1日前
重症度	多くは軽症~中等症	重症になりうる
致死率	0.1%以下	3-4%
ワクチン	使用可能だが季節毎に有効性は異なる	開発中であるものの、現時点では有効なワクチンは存在しない
治療薬	あり	軽症例については、確立された治療薬はなく、多くの薬剤が臨床治験中
*ARDSの合併	少ない	しばしばみられる

*ARDS（急性呼吸窮迫症候群）とは…臨床的に重症の状態の患者に突然起こる呼吸不全の一種

コロナ禍で、WHO はインフルエンザの予防接種を奨励しています。
今年には特に、インフルエンザの予防接種を積極的に行いましょう。



手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！



手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から帰った時



咳やくしゃみ、鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後！

病気の人のかををした時



外にあるものに触った時

